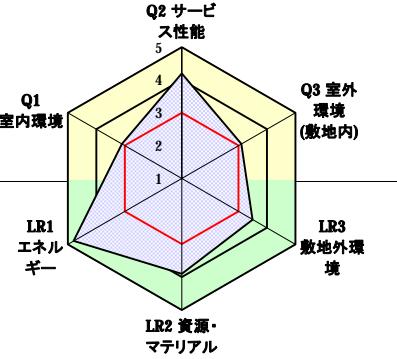
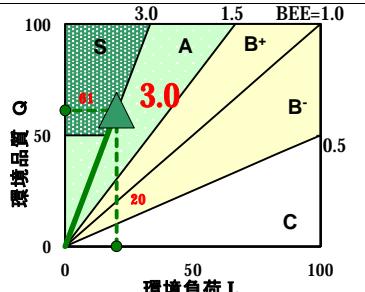
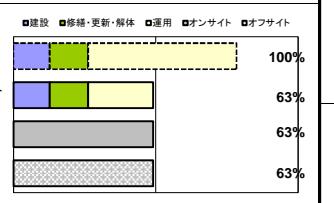
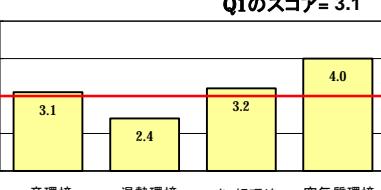
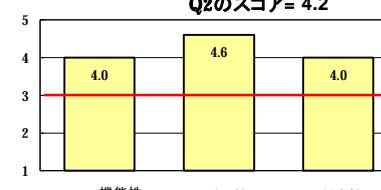
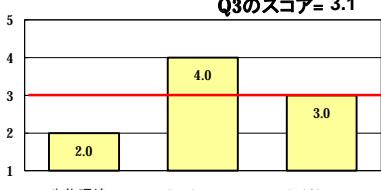
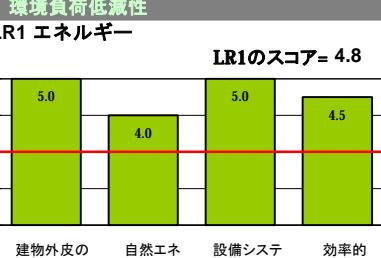
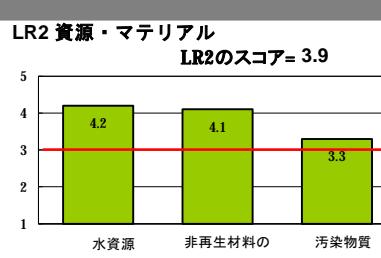
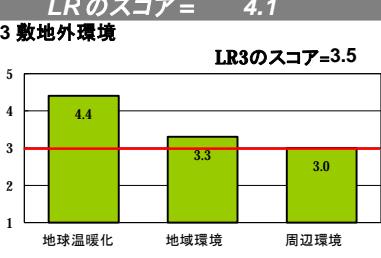


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪大学(吹田)感染症総合教育研究拠点整備事業	階数	地上10F
建設地	大阪府吹田市山田丘	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住専、防火地域 指定なし	平均居住人員	276 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定)
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2023年8月3日
敷地面積	10,426 m ²	作成者	西尾 吉貴
建築面積	2,354 m ²	確認日	2023年8月4日
延床面積	17,619 m ²	確認者	西尾 章治郎

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 3.0  S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★		 30% ★★★★★ 60% ★★★★ 80% ★★★ 100% ★★ 100%超: ★			
		標準計算  このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したもので		Qのスコア = 3.4 Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1  Q2 サービス性能 Q2のスコア = 4.2  Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 3.1  LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.8  LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.9  LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5 	

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F★★★★を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が長い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		
Q1 室内環境 Dr-42 自動照明制御ができる。 ビル全体の禁煙が確認されている。	Q2 サービス性能 階高: 3.9m。 床荷重: 4900N/m ²	その他 特になし
LR1 エネルギー BPI=0.80。 BEI=0.45。	LR2 資源・マテリアル 節水コムなどに加えて、節水型便器も採用している。 OAフロアを使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率63%		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】 建物名称		大阪大学(吹田)感染症総合教育研究拠点整備事業			
建設地		大阪府吹田市山田丘			
用途／区分		学校(大学等)			
【評価結果】	CASBEE 総合評価				S
①	CO2削減				4
②	みどり・ヒート アイランド対策				3
③	建物の断熱性				5
④	エネルギー削減				5
⑤	自然エネルギー直接利用				
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—
		太陽熱利用	—	水力	—
				地熱	—
				バイオマス	—
エネルギー消費量の報告					

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.4	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		